

TKU
120
CHALLENGE 2020
SINCE 1900

東京経済大学 **創立** 120周年記念事業

「交流経済」

×

「地域循環共生圏」

— 都市発展のニューパラダイム —

2019年 1月26日(土)

定員 250名
参加無料
事前申込優先

時間／フォーラム 13:30～17:30 (開場13:00 会費:無料)

懇親会 17:45～19:30 (別途参加費:3,000円)

場所／東京経済大学 国分寺キャンパス大倉喜八郎 進一層館1Fホール(地図裏面)
(東京都選定歴史的建造物)

下記ウェブサイトまたはメールからお申し込み頂けます

お申
込み

フォーラム申し込みフォーム

: URL: <http://byn.vc/dqxsy>

メール: info.symposium.tku@gmail.com

Mail



Web



問い合わせ先: 東京経済大学・地域連携センター

〒185-0021 東京都国分寺市南町 1-7-34 東京経済大学 tel.042-328-7950

情報革命、グローバル化そして地球規模の環境危機が、経済発展のパラダイムシフトを求めている。日本ではかつてない規模で多くの外国人が訪れる時代となった。また、循環共生型の社会を目指す機運も高まっている。急成長する中国でも世界との人的交流の拡大や、環境問題への取り組みの強化などの動きが見られる。このフォーラムでは、日中両国の政策当事者や有識者を招き、「交流経済」、「地域循環共生圏」をキーワードに、新しい成長モデルを議論する。

13:30 }	開会挨拶
13:45	<p>岡本 英男 東京経済大学学長 森本 英香 環境事務次官</p>
13:45 }	基調講演
14:15	<p>楊 偉民 中国人民政治協商会議常務委員、中国共産党中央財経領導小組弁公室元副主任 中井 徳太郎 環境省総合環境政策統括官</p>
14:20 }	セッション1：「交流経済」とは～インバウンド 3000 万人のもたらすインパクト
15:50	<p>年間 3000 万人に及ぶ海外からの人的交流は、わが国において新たな地域発展の可能性を育むとともに、海外と日本との間のセーフティネットの基盤をも創出すると考えられる。このセッションでは、「交流経済」が地域にもたらすインパクトとその活かし方を議論する。</p> <p>パネリスト 邱 曉華 マカオ都市大学経済研究所所長、中国国家统计局元局長 前田 泰宏 中小企業庁次長 小手川 大助 キヤノングローバル戦略研究所研究主幹、IMF 元日本代表理事</p> <p>司会 周 牧之 東京経済大学教授</p>
16:00 }	セッション2：大都市圏から新しい「成長」のモデルを創り出す
17:30	<p>人間の活動に伴う地球環境の悪化が深刻化する中、環境・経済・社会の統合的な向上を目指す新しい成長モデルが問われている。このセッションでは大都市圏での「地域循環共生圏」確立の可能性を探る。</p> <p>パネリスト 胡 存智 中国不動産鑑定士・土地登記代理人協会会長、中国国土資源部（省）元副部長 和田 篤也 環境省大臣官房政策立案総括審議官 小林 一美 横浜市副市長</p> <p>司会 尾崎 寛直 東京経済大学准教授</p>

総合司会

関口 和代 東京経済大学教授

会場地図

国分寺南口から徒歩12分
※お車までのご来場はご遠慮ください

